



宮下伸悟 議員

「支え合いマップ」を コミュニティ再考の契機に 公的な見守り体制づくり が第1ステップ

質問・・・町で準備を進めている要援護者支援システム、地区ごとの支え合いマップづくりを通じて、住民が地域コミュニティの大切さを再考する契機とすべきでは。

町長・・・公的に支援されている方だけでなく、介護等の認定はないが生活に不安を抱いていて見守りを希望する方についても、民生委員に訪問していただいた履歴をレポートとして町に上げてもらう。ご近所での見守りを希望する方法と、その際に支援する側の情報も含め、システムにどう活用するかは難しい問題。災害時の支援体制と、公的機関及び民生委員によ

る見守りができている、という状況を作るのが第1ステップ。ご近所や地域コミュニティでの見守り体制をどう運用するかは、議員視察の情報も踏まえながら第2ステップとして、きちんと考えていきたい。

質問・・・富士通が提供する電子申請システムがサイバー攻撃を受け、システムが不通となる障害が発生した件について、町としての対応は。また、町が管理するサイバーの防御体制の現状は。

町長・・・電子申請システムはサイバスを提供する会社にきちんと対応してもらう責任がある。富士通の言うとおり、やはり事前に予防することは非常に難しい。日本の大半の企業と自治体はトレンドマイクロ社のセキュリティを導入しており、町のサーバー、町が委託している情報センターも同じシステムを入れてある。瞬時に察知し、瞬時に修復することが大事。

質問・・・データ保護管理審査委員会でのこれまでの具体的運用は。

総務課長・・・開催実績はない。

□その他の質問

*TPPへの対応について



加々見保樹 議員

富士見高原病院新病棟 建設への対応は 総額の1割 3億円を補助する

質問・・・富士見高原病院、新病棟建設に補助金を出す考えは。

町長・・・県内の厚生連病院に対する地元負担を調査した。その結果総額の1割、3億円を負担する。

質問・・・諏訪地域の自治体病院への繰入額は。

住民福祉課長・・・昨年度は、原村が4600万円、茅野市が3億5600万円諏訪中央病院へ支出している。岡谷市は岡谷病院へ8億5700万円支出している。

質問・・・建設予定地に旧結核療養所、記念館がある。文化財として貴重であるが、町の考えは。

町長・・・今のままの保存は無理。

資料を病院内で一般の人が見学できるように展示するというところで、病院側と話し合った。町としては、どのようにするか見守っていく。

■ロタウイルスワクチンの接種に補助を

質問・・・冬から春にかけて小児に流行するロタウイルス性胃腸炎のワクチンが認可されたが、接種に補助を出す考えは。

町長・・・定期的にこれから補正予算を組むのは難しい。来年度ワクチンの半額を予算計上する。

質問・・・現在、県内で補助しているところはないと思う。富士見町がいち早く実行すれば、注目され富士見へ移住したいという世帯も期待できるのでは。

住民福祉課長・・・これから補正予算を組んでも、今年度は事務的に不可能。

■共同募金の区徴収について

質問・・・区、集落組合に募金袋が配布され回収するスタイルは「自発的な協力を基礎とする」共同募金の精神に反するのでは。

町長・・・長年続いているこの方法を今後も続けたい。ご苦勞に対し区に補助金を支払っている。